
【参考②】中小企業向けSBT

中小企業向けSBTの概要 1/4

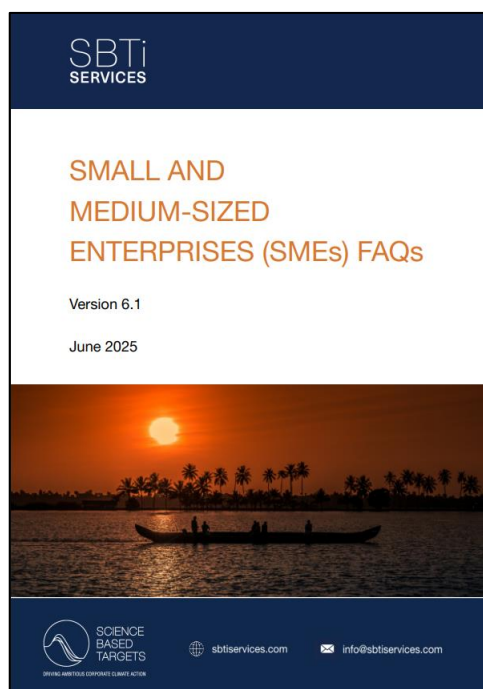
- 中小企業は目標策定・申請に際し以下のようなガイダンス資料を参照可能。



中小企業向けCAI

[SME Criteria Assessment Indicators](#)

- ✓ 中小企業が設定するSBTのSBTi基準への適合性を評価するリスト
- ✓ 目標策定をする際に本書を確認し、目標がすべての基準を満たしているか確認する必要



中小企業FAQs

[Small & Medium Enterprises \(SMEs\) FAQ](#)

- ✓ 中小企業がSBTを設定し、検証するための詳細なプロセスについてQ&A式に説明されているガイドライン
- ✓ 中小企業の定義、目標設定のオプションや設定方法等について記載



中小企業向け目標検証適合チェックリスト

[Target Validation Application Checklist for SMEs](#)

- ✓ 申請前に準備すべき登録情報、排出量データ、契約・支払いに関する情報などが整理
- ✓ 企業が自社の目標がSBTiの基準に適合しているかを事前に確認可能

中小企業向けSBTの概要 2/4



- 下記に示す4つの必須要件と4つの追加要件のうち3つ以上を満たす企業が、中小企業向けSBTに申し込むことができる

	中小企業の定義
必須要件	下記の4項目をすべて満たさなければならない 1. Scope1とロケーション基準のScope2の排出量合計は10,000 tCO₂e未満 2. 金融機関セクターまたは石油・ガスセクターに分類されていないこと 3. SBTiが策定したセクター別基準に基づく目標設定を求められていない※1 ・ 例：セクター別脱炭素アプローチ ・ SBTiのセクターガイダンス文書を参照 4. 親会社の全体事業が標準的な検証ルートに該当する企業の子会社ではない
追加要件	上記の必須要件5項目に加え、以下の4項目のうち3項目以上を満たす必要がある 1. 従業員が250人未満であること※2 2. 売上高が5,000万ユーロ未満であること※3 3. 総資産が2,500万ユーロ未満であること※3 4. 森林、土地および農業（FLAG）セクターに分類されないこと ・ FLAGガイダンスの基準1を参照

※1：必須のFLAGセクターに属する企業でも、その他の条件をすべて満たす場合はこの条件の対象外となる。

※2：組織が雇用する全ての従業員数。パートタイマーの従業員を含む

※3：売上高、従業員数、資産に関するデータを確認できる財務諸表の提出が必要。

[出所] SMALL AND MEDIUM-SIZED ENTERPRISES(SMEs) FAQ (<https://docs.sbtiservices.com/resources/FAQsforSMEs.pdf>)より作成

中小企業向けSBTの概要 3/4



- 中小企業は独自の目標検証サービスが用意されている。

	中小企業向けSBT	<参考> 通常SBT
対象	✓ 次頁の条件に適合する企業	✓ 金融機関・中小企業以外の企業
範囲	✓ Scope1,2 ✓ Scope3：任意で設定可能だが目標検証対象外（ただし測定・削減の意思表示は必要） • ネットゼロ目標の場合はScope3も含む	✓ Scope1,2,3 • Scope3の目標設定は、Scope3排出量が全体の40%以上を占める場合のみ必要
設定可能目標	✓ 短期目標 ✓ 短期維持目標 ✓ ネットゼロ目標	✓ 短期目標 ✓ ネットゼロ目標
基準年 目標年	✓ 基準年：2015年以降 ✓ 目標年：申請から5～10年	✓ 基準年：2015年以降 ✓ 目標年：申請から5～10年
プロセス	✓ コミットメントは不可 ✓ 中小企業専用の目標設定フォームを使用 ✓ あらかじめ定義された検証オプション（ポータル上）から選択する形で目標を設定可能	✓ コミットメントは任意 ✓ 目標申請フォームを使用 ✓ 目標は自社で策定する必要
開示	✓ 年次開示	✓ 年次開示
料金	✓ 短期目標：1,250 米ドル ✓ ネットゼロ目標：1,250 米ドル	✓ 短期目標：11,000 米ドル ✓ ネットゼロ目標：11,000 米ドル ✓ 上記はスタンダードティア料金（詳細はP96参照）
その他	✓ 通常SBTの検証を受けることも可能	—

【参考】目標検証の段階（中小企業向けSBT）



- 中小企業向けSBTにおける目標検証の段階は下表の通りである。

検証段階	概要
ポータル スクリーニング	✓ 検証は、SMEがSBTiサービスの検証ポータルを通じて提出した情報の初期レビューから始まる ・ 目標の野心度、対象範囲、基準年、タイムフレーム等の主要な定量情報がSBTiの基準等に合っているかを確認する ・ 通常のスクリーニング基準を外れるものは、追加審査の対象としてフラグを付けられる
定性的評価と 排出量の確認	✓ レビュアーは、中小企業が提出した定性的な回答と排出量プロフィールを手動で確認する ・ 目標設定の方法論、基準年の根拠、野心度との整合性などが含まれる ・ 排出量プロフィールには、Scope1,2及び該当する場合はScope3の排出量が含まれ、SBTiのGHG排出要件への適合が求められる
照会	✓ 不明確、不完全、または誤っている項目があれば、主任レビュアーが中小企業に照会を送り、追加情報や説明を求める ・ 照会には、問題の具体的な内容や該当する提出資料の箇所が記載される ・ 遅延を避けるため、正確で完全な情報を迅速に提出する必要がある
照会の解決	✓ すべての照会が解決し、追加の問題がなければ、レビュアーは最終段階に進む ・ 追加情報が必要な場合は、照会を繰り返し、全ての問題が解消されるまで継続される
決定	✓ 主任レビュアーは、検証結果の勧告と評価済み資料を検証者に提出する ✓ 検証者は、検証がSBTiの基準やガイダンスに準拠していること、照会や審査過程で出た問題が全て解決されたことを確認する
決定に対する 追加照会	✓ 検証者がこの段階で追加の照会を出す場合、主任レビュアーが中小企業に連絡して、説明や追加情報を求める ✓ 中小企業が照会に対応した後、主任レビュアーは再度検証結果の勧告を提出し、検証者が最終決定を下す

※目標検証チームの構成はP92参照

[出所]Standard Operating Procedure for the Validation of SBTi Targets (<https://docs.sbtiservices.com/resources/SOPTargetValidation.pdf>) より作成

中小企業向けSBTの概要 4/4



- 中小企業には、通常のSBTよりも低い料金テーブルが用意されている。

提供サービス	内容	料金
短期目標申請/更新	- 短期目標のみの検証 - 削減目標または維持目標の設定を行う中小企業向け	1,250 米ドル
ネットゼロ目標申請	- ネットゼロ目標のみの検証 - すでに1.5℃整合の短期目標を設定済み、または目標を5-10年の範囲で選択する企業向け	1,250 米ドル
短期目標 及び ネットゼロ目標	短期目標とネットゼロ目標の両方を検証	2,500 米ドル